

2009 年度 日本徒手療法学会主催講習会

講習会名：脊柱(腰椎)の機能解剖から考えた病態と徒手療法
～脊柱の評価と治療の基礎(Paris S1)入門編～

日 程：平成 21 年 8 月 30 日(日)

時 間：9:00～15:00

場 所：大阪回生病院リハビリテーションセンター

内 容：①椎間関節、靭帯の解剖と病態 ②椎間板と不安定性
③姿勢評価、自動運動講義・デモンストレーション
④他動運動検査、病態、脊柱マニピュレーションのデモンストレーション

講 師：佐藤 友紀 (St.Augustine 大学助教授)、増井 健二 (大阪回生病院)

①講習会内容について

講義内容：

- ・大変興味をもてた 20(36%)
- ・興味をもてた 28(51%)
- ・ふつう 7(13%)
- ・興味をもてなかった 0
- ・全く興味をもてなかった 0

講義内容についてのコメント

- ・ 解剖・運動に基づいた腰椎の評価治療を講義していただいたため、腰痛の原因を考える幅が広がった気がする。
- ・ 骨・軟部組織・椎間板などの関節構成体を丁寧に講義してもらえたから。
- ・ 解剖・運動を中心にしている点。
- ・ 今まで自分が行ってきた評価の不十分なところ問題点が明確になった。
- ・ マニピュレーションの講習でこんなに解剖を基にしたものが今までになかったから。
- ・ 腰痛の患者さんの診ることが多いので評価の進め方がとても興味を持ちました。
- ・ 解剖・運動に基づいて理論的に推測することで患者にもよく説明できる。
- ・ 臨床で速役立てる最新のトピックスを聞いて興味深いです。
- ・ facet 動画がイメージしやすい。
- ・ 機能解剖の必要性をよりいっそう感じた。
- ・ なかなか一人では学ぶことが難しいため。
- ・ S1 講習を受けていたのでわかりやすかった。
- ・ 解剖・運動学の基礎から評価・病態理解まで考えることができ興味深く勉強することができた。
- ・ 脊柱の評価が見る・触るだけになっていて他の評価方法を考え方を知ることができた。
- ・ 解剖についての見解が大変面白かった。
- ・ 病態と評価のつながりをもう少し考察できればよかったです。
- ・ それぞれの症状において原因部位が絞れていくことを詳しく知れたため。

- ・ 病態の考え方・評価のポイントがわかりやすく説明をいただいたから。
- ・ 解剖から病態を考え、評価・治療につながる過程をわかりやすく理解できた。
- ・ 解剖運動学を交え、とてもわかりやすかった。
- ・ 解剖学的な視点が多いため。
- ・ 解剖・運動学的な点を細かく説明していただいたのでわかりやすかった。
- ・ 機能解剖・運動学から考えることで病態の理解がしやすかった。
- ・ 今まで曖昧になっていた解剖・運動学の知識の再確認ができた。これからの勉強につなげられそう
- ・ 新しく知った解剖学的知識の臨床応用が面白かったです。
- ・ 内容的に入門編とのことだったので十分理解できるものではなかったと思う。
- ・ 解剖・運動学に基づいた内容が再確認できた。
- ・ 評価の流れから理解できた。
- ・ 今回入門編として解剖学・運動学を重要視した脊柱の病態に触れられたことは非常に興味深いな
いようでした。
- ・ 脊柱の評価や治療に関して勉強する機会があまりなかったのです。
- ・ 知識不足でわからない点はありましたが評価の大切さを実感しました。
- ・ 理解しやすかった。

理解度：

- ・ 大変よく理解できた 1(1%) ・ 理解できた 33(46%) ・ ふつう 17(23%)
- ・ 理解できなかった 2(30%) ・ 全く理解できなかった 0

その他の感想についてのコメント

- ・ とても興味を持って聞けました。これまで参加してきたどの勉強会よりも科学性に富んだ講義でした。徒手療法の限界についても明言されていたので、とても共感できる場所がありました。知りたいところや、行ってみたい実技がS1での受講という形になっていたのが残念なところもありましたが、S1に参加してみたいという気持ちが高まりました。
- ・ 椎体1つの動きの理解が乏しいため、予習しておくべきでした。局所の画像がリアルすぎて、わたしにはどこのところかはっきりわかりませんでした。教科書レベルでの絵を前もって提示してもらえると、わたしにとっては助かったのですが…
- ・ 臨床での経験からの内容だったので、自分と照らし合わせることもできた。
- ・ スピードもちょうどよく、内容もわかりやすくて勉強になりました。
- ・ デモ患者の結果の解釈が聞いてよかった。
- ・ 脊柱という表面からは判断できないものを新鮮な遺体を使った、実際の脊椎の状態などをスライドやビデオなどで見られたのは勉強になりました。S1 受講済みですが、評価がやはり難しいです。
- ・ 知識として必要な解剖・病態の説明からデモという講義の流れで理解を深めたり、確認することができた。とても理解しやすかったです。



講師がおこなった実際の解剖を説明しながら講義している。



デモンストレーションしているところ。